

## カナダ先住民のハーブ療法

ナンシー・ターナー\*（谷口文章\*\*抄訳）

Herbal Therapy : North American First Nations  
Nancy J. Turner, Professor  
University of Victoria, Canada

### キーワード

カナダ先住民 Canadian First Nations

伝統医療 Traditional Medicine

ハーブ療法 Herbal Therapy

健康のための伝統的な食物 Traditional Foods as Health-giving

### I. 伝統的ヘルスケアの重要性

ヘルスケアの提供、人類の健康増進という観点から、経験・伝統に基づいた医療が果たしてきた役割について、世界中が注目しています。

WHO（世界保健機構）は、「伝統的医療とヘルスケア」というタイトルの本を1983年に出版しました。この本の編集者の1人であるバーマンは、世界的な視野での伝統的医術の重要性について議論しています。

世界の様々な土地で生まれ、実践されている伝統的医術は、実は文化と深く結びついています。従って、どのような文化的背景や環境に基づいた治療なの

\*カナダ ビクトリア大学 教授

\*\*甲南大学 教授

※本稿は第4回保健医療行動科学国際会議（2001.8.神戸）における特別講演の抄訳である。

かを理解することが非常に重要です。人間の肉体的健康は、少なくともその一部は、情緒的・精神的健康に依存しているためです。

ウェルネス（健康でいること）に、心理的因素が含まれていることは、ほとんど全ての医学体系で認められています。心理的な治療効果を数値化したり、定量的分析で証明することは非常に困難であるということも事実ではありますか…。

西洋医学においては、“プラシーボ（偽薬）効果”というものが心理的因素を示す代表的な例として引用されています。これは病気にかかった場合、一切薬を飲まない人々と比較し、主成分を含まない糖衣錠であっても、それを飲んだ人の方が、症状の改善が早まる傾向を示すというものです。

現代の世界でも、伝統的なヘルスケアが唯一医療選択肢である場合が少なくないことを考えると、伝統的ヘルスケアの重要性は非常に高いと言わざるを得ません。最も理想的なヘルスケア体制とは、相互補完性を持ち、西洋式の臨床・外科技術の良い部分と、それぞれのコミュニティーで伝統的に実践されてきた民間療法の良い部分を組み合わせることである、という意見にほとんどの人が賛同するでしょう。

## II. カナダのファースト・ピープル

カナダのファースト・ピープル（先住民）は、幅広い伝統的医術体系を確立してきました。その内容は、薬草やトニック（強壮剤）の利用、シャーマンに代表される情緒的・精神的ヒーリング、儀式、祭式、特殊な訓練、守護神への崇拝、浄化、さらにはダンス、演劇、芸術、音楽等、様々な要素を統合したもののです。

ヒーリングのための伝統的儀式の多くは、植民地化が進むにつれ減少または失われてしまいました。キリスト教宣教師による布教活動、先住民の文化や言語を排除することを目的に設立された学校での教育、聖なる土地及び薬草の生育地へのアクセスの消滅（Edwards, 1980 ; Kelm, 1998）。

これら全ての要因が合わさった結果、現在では、シャーマンやヒーラー（信仰療法を行う人）の伝統に関し、専門知識を持つ人が、益々稀少になりつつあります。今日この種の知識を持つのは、ファースト・ピープルの長老格の人々だけです。

カナダのファースト・ピープルも、他の土地の人々と同様に、現代医学の恩恵に浴するようになりました。抗生物質やその他の新薬、肝臓移植、複雑な外科手術、X線、超音波、血液検査、マイクロサージェリー等、最新の技術を利用することが可能です。

しかし、カナダの一般的な人々と比較し、ファースト・ピープルが抱える健康問題は、より深刻であるという報告が出されています。幼児死亡率、出産異常、薬物やアルコール依存症、自殺等、全般にかなり高めの数値が出ており、寿命も国民平均に比べかなり短いものです (Stephenson et al., 1995 a)。

ファースト・ピープルの間でみられるこのような健康問題の背景には多くの理由が存在しています。

その一つに、食生活があまり豊かではないということと、ライフスタイルの変容をあげることができます (Stephenson el al., 1995 b)。しかし、私が直接話を聞いた長老達が指摘した別の理由は、西洋医学と先住民とは文化的に整合しません。それゆえ効果が少ないというものでした。彼らは伝統的なヒーリング手法を復活させればファースト・ピープルの健康状態は改善すると信じています。単に効果をもたらすだけではなく、ファースト・ピープルとしての自信を強め、自らのアイデンティティーをポジティブに受け止められるようになるというのです。

### III. ファースト・ピープルが利用してきた薬草とその応用

カナダにおいて非先住民（ノンネイティブ）である私は、ファースト・ピープルが実践してきた伝統的医術に関するエキスパートになり得ないことは自覚しています。本日皆さんにお話しする内容は、伝統的文化や植物学の専門家の

方々から教えて頂いた情報に基づいています。今回のプレゼンテーションではシャーマンやヒーリング儀式ではなく、ファースト・ピープルが利用してきた薬草とその応用にフォーカスを当てたいと思います。

まず、ハーブ療法の概論を述べ、数種類のハーブを例に取り、薬効や摂取方法についてお話しする予定です。先程も説明しましたが、ファースト・ピープルにとってヒーリングとウェルネスの体系は、多様かつ複雑です。今日私が例示するのは、カナダの最西端、ブリティッシュ・コロンビア州における事例です。言及する植物の“種”的大半は、北米大陸に居住するほかのファースト・ピープルにも利用されています。

また、明日予定されている“医療をめぐる統合的アプローチ”では、谷荘吉先生のコーディネートのもと、中国の漢方及び世界の他地域における伝統的医術に関するディスカッションが行われます。私もその中で、東洋と西洋の伝統的療法につき、話をする予定です。

#### IV. 伝統的な薬物

カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州のファースト・ピープルは、伝統的な薬物として200種類以上の植物や菌類を利用していました。そのほとんどは、葉、茎、樹皮、根、花、果実等、ほぼ全パーツの一部又は全体を利用します。また、シダ、地衣（こけ）、藻類、真菌の果実部等も使用されます。多様な植物属にまたがる利用ですが、その中で代表的なものは、バラ属、シオン属、マツ属です。特に、針葉樹それ以外にも多くの木や低木の樹皮等が薬として調合されます（Turner, 1988; Gottesfeld, 1992; Turner & Hebda, 1990）。

ハーブ療法に用いられる薬は、単数あるいは複数の植物を原料にしますが、調剤方法は多岐にわたります。どの植物の、どのパーツを用いるか？ 用途は何か？ 等によって、異なる方法がとられます。

葉、根、その他のパーツを水に浸した後、湯、又は沸騰水で、お茶のように煎じるやり方が最も一般的です。

沸騰水に植物を投入し、一定時間、時には数時間煮出して、煎じ汁に仕上げるやり方もよく行われます。煎じ出しや煎じ汁は飲むのが普通ですが、ハレものや関節の痛みに湿布剤として用いられたり、感染、傷、炎症をおこしている皮膚や頭皮の洗浄にも利用されます。

その他にもサープ（軟膏）を作ったり、スチームバスに入れたり、ハーブを煮出した蒸気を吸引したり、生のハーブをすりつぶしたり、乾燥させた葉、根等を加工します。

このように調整された薬を多くの疾病に用いるわけです。例えば、腎臓や尿路感染症、消化器官系の疾病、頭痛、風邪、呼吸器系の病気、おできや皮膚の感染症などです。さらに、出産、産前、産後の滋養・強壮、骨折、やけどや傷に用いたり、汎用トニックとして、健康維持に役立つこともあります（Gottesfeld and Anderson, 1998 ; Turner et al., 1990 ; Johnson, 1997）。

## V. 伝統的な食物と健康

先住民における伝統的医療や健康術は、伝統的な食物と深く関連している点も留意する必要があります。

実際医食同源といわれているとおり、食物と薬を区別することは、通常は難しい作業です。ウィリアム・ワブースは自分の生涯で正しい食物を摂取する重要性を述べております。

先住民の長老ウィリアム・ワブースさんは、112歳、オンタリオで最も長寿の人物です。彼の健康状態が人々の注目を集めています。オジブワ・インディアンであるワブースさんは、107歳になるまでほとんど病気知らずでござし、長寿の秘訣は「食べ物である」と語っています。50歳代になるまで、店頭で販売する食品に手をつけたことがないそうです。

良い健康状態と体に良く栄養価の高い食事とが切り離せない関係にあることは、明らかです。多くの人々がお茶等にしてハーブを消費することで、ビタミ

ンA, C, カルシウムやマグネシウム等のミネラルのような必須栄養素を補充しています。

人々の間で栄養価が高く、体に良い食品であるとして人気を集めているものにアマノリがあります。これは日本のりの親類です。それ以外にも、殺菌効果をもつある種の木のやに（樹脂）をガムのようにかむことで口の中の健康を維持し、虫歯、歯茎のバクテリア感染を予防しているケースもあります。

## VI. ハーブ療法

ファースト・ピープルが療法に使用するハーブは、薬効成分によりグループ分けすることができます。

その中で代表的なものは、アルカロイドというグルコシドです。アルカロイドはアミノ酸に由来する環状化合物で、塩基性またはアルカリ性です。これらは少なくとも1つの窒素原子を複数素環内に持っています。これらは2次的代謝により生成される2次的化合物で、植物界、特に花をつける植物に広く分布しています。アルカロイドの大半は苦味があります。固有の薬効を持ちますが、特に動物神経系統に作用します（アセチルクロライン、ドーパミン、セロトニン等）。人体で生成される神経伝達物質と類似する化学構造を有しており、それらの物質に似せて擬態し、働きを阻害するのです。アルカロイドの多くは潜在的に毒性を持ちますが、適用量次第で治療効果を発揮します。

実はアルカロイドを含有する植物には、人類はなじみがあります。タバコはアルカロイド・ニコチンを含有し、お茶やコーヒーはアルカロイド・カフェインの異性体を含有しています。標準的な医薬品にアルカロイド由来物質は幅広く利用されています。

Datura（ナス科植物）に含まれるスコポラシンは乗り物酔い止めに使われ、Claviceps<sup>ばっかく</sup>と呼ばれる菌類の主成分麦角アルカロイドは分娩に使われ、アヘン、コデイン、モルヒネ等の鎮痛剤はけしから抽出されます。

近年発見された現代医学に用いられるアルカロイドのうち、最も重要なのが

マダガスカル原産のニチニチソウから抽出・単離される抗腫瘍性アルカロイド・ピンクリスチーンとピンプラスチーンで、小児白血病とホジキンス病治療に目覚しい効果を発揮しています。

グルコシドはアルカロイドよりも広く植物界に分布しています。そのほとんどは毒性を持たないのですが、ある種の毒物化合物を産出します。多くのグルコシドの薬効は、治療目的で利用されています。グルコシドは1つ以上の糖分子とアグリコンと呼ばれる糖以外の成分から構成されています。つぶしたり、体内に摂取すると、酸素や酸の働きにより分離され、糖と非糖ユニットに分けられます。毒性や治療能力を決定するのは通常はアグリコンです。シアノ化物生成グリコシドは、非常に一般的な物質です。アプリコット、チェリー、プラムの葉、樹皮、仁に含有されており、その他にもエルダーベリー、ソラマメ属にも含まれています。高濃度で摂取すると吐き気がしたり、死に至る場合もありますが、薬の成分として、多岐な使われ方をしています。キツネノテブクロに含有されるジキタリス及びその同属化合物や、その他の植物から得られる成分は強心性配糖体として、心臓の鼓動の抑制に、西洋医学で用いられます。ヨーロッパ原産の植物であるジキタリスは、昔から民間療法に利用されてきました。

これ以外にファースト・ピープルによりハーブ療法に用いられる化合物をいくつか紹介します。

#### 〈タンニン〉

構造が複雑で苦味がある化合物。もつしょくしさん没食子酸を含有し、酸素を含め、たんぱく質を結合させる能力を持つため、凝血剤として利用されます。

#### 〈樹脂、揮発性油（特に精油）及びそれらの化合物〉

これらも構造が複雑で多様な化合物です。植物一般に存在し、テルペンチンに代表されるオレオレンジと呼ばれる混合物とともに生成されます。

通常風邪、せき、その他呼吸器系統の病気治療に用いられます。針葉樹、ミント、ヨモギ属、その他香気性植物に含有されています。

#### 〈各種炭水化物〉

この中には、砂糖、アルコール、スターチ、ガムや各種油脂、リピッド（脂

質) が含まれます。

これらの薬効を持つ化合物は、ハーブ療法で重要な役割を果たします。しかし、前にも述べたように、伝統的ヘルスケアシステムという文脈で、全体的論点視点を持つことが大切です。

植物やその薬効成分はあくまで全体的システムの一部に過ぎず、情緒的、精神的、肉体的健康状態と切り離すことはできません。また、ハーブの採取、加工、投与方法も患者の治療や患者個人の全体的健康状態に同様の影響力を及ぼします。ハーブ療法においては、精神面が重視されますし、先住民の人たちは、環境の健全さ、他の生物の健康状態も人間の健康に決定的な影響力を及ぼすと信じています。

## VII. 重要なハーブ療法

ここでブリティッシュ・コロンビアのファースト・ピープルにとって重要なハーブ療法について、具体例を示しながら説明したいと思います。

それぞれの文化的特性や応用例に加えて、先住民の人々が伝統的に利用してきた薬草の商品化に関連する問題点についても後ほど言及します。

### 1. デビルズ・クラブ：双子葉植物セリ目ウコギ科（写真1）

デビルズ・クラブはジンセン属

の仲間です。トゲのある低木で、  
ブリティッシュ・コロンビアの沿  
岸部ならびに内陸部の温帯針葉樹  
雨林に生息しています。薬効を持  
つ植物として重要な存在であり、  
精神的な存在としても重要視され  
ています。糖尿病から胃潰瘍の治  
療まで様々な病気の治療に用いら

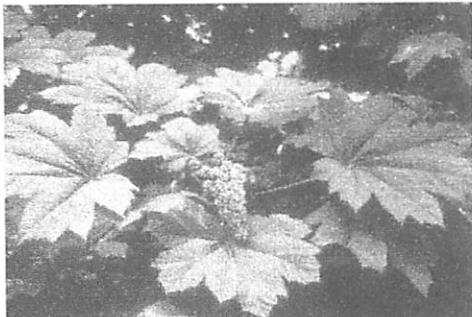


写真1 デビルズ・クラブ

れます。低血糖症の特性を持つこと以外に、化学的な解明はあまり進んでいません (Turuner, 1982)。先住民の伝説の中に、デビルズ・クラブがパワフルな精神力を持つ人として描かれ、彼を尊敬し、愛を寄せる人々に対し、救いの手をさしのべ、病を癒す姿が描写されています。伝統的な先住民の文化に関する知識が失われつつある現代でも、デビルズ・クラブの栽培は、慎重かつ入念に行われています。

伝統を重んじて信仰治療を行う人々の多くは、デビルズ・クラブやその他の薬効を持つ草木に語りかけ、助力を請い、なぜそれらを栽培する必要があるのかを説明します。薬を得るために収穫する際には、タバコや金銭といった供え物をささげるのが普通です。

ある文化圏では、デビルズ・クラブの収穫中に、人の影が重なると薬効が損なわれてしまうという言い伝えがあります。今日でも、多くの人々がデビルズ・クラブを治療用に利用しています。最も一般的な用途は、後天的糖尿病治療薬として使われます。デビルズ・クラブは自生する地域もありますが、商業目的でデビルズ・クラブを栽培している土地もあります。しかし、商業目的で栽培する人々は茎だけでなく、根まで取り去ってしまいます。

しばしば、ジンセンと比較されるデビルズ・クラブは主に強壮剤として消費されています。南部及び沿岸部では生育が少なくハーブ専門療法士でさえ見つけることがありますます困難になってきており、いずれは完全に消滅してしまうのではないかと危惧されています。

先ほども述べたように、デdevilズ・クラブのような草木には、栽培人も療法士も尊敬と感謝の気持ちを抱いて向き合っています。クワ・クワ・クワワ族の男性が自分の子どもの腫れ物ややけどを癒してほしいと、バラ属のサーモンベリーの樹皮に祈りをささげている姿が見られます。サーモンベリーの樹皮にはタンニンが豊富に含まれています（写真2）。

“超自然界の存在よ。私がここに来て、ここに座り、あなたに願い事をすることに驚かないでもらいたい。超自然界の存在よ、私があなたのものとへやって来て、祈りを捧げる理由はひとつです。どうか、あなたの身を被うブランケットの一部を私が取り去ることを許してください。これこそ腫れ物を癒す薬。これで私の息子のやけどが治るはず。超自然界の存在よ、どうか私の息子のやけを治してください。”(Boas, 1930 : 216)

## 2. パシフィック・ユー：イチイ属（写真3）

パシフィック・ユーは比較的小型の高木で、イチイ属の仲間です。この木は木彫師<sup>きぼりし</sup>や大工から、強度と弾性に優れていると賞賛されています。

数千年間、人々はこの木を用いて、様々な道具を作っていました。特に弓、くさび、根を掘るスティック、もりのシャフト等、圧力が多くかかる道具の材料として重宝とされたのです。

ユーの木と樹皮は、アルカロイドを含有し、先住民の人々から、内臓、心臓、循環器系の病気やせき、気分が優れない時の薬として、長年利用されていました。多用すると毒性を示すため、使用に際しては注意が必要です。

1960年代後半、アメリカ・ガン学会がパシフィック・ユーの樹皮に含まれるタクソールという成分が抗ガン剤の効果を発揮する可能

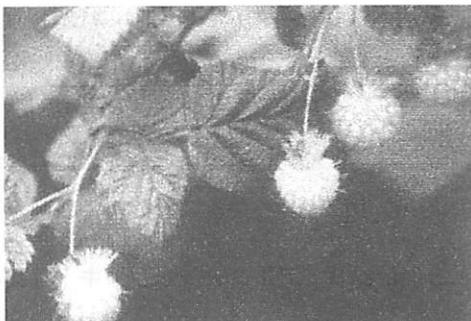


写真2 サーモンベリー



写真3 パシフィック・ユー

性を持つことを発見しました。その結果、治療が困難なガンといわれる卵巣ガン、腎臓ガン、乳ガンの治療効果を検証するための臨床的試験が実施されました。製薬会社のブリストル・マイヤーズ・スクイブはパシフィック・ユーの樹皮から抽出したタクソールの特許を取得しました。これにより、一攫千金を狙う、あるいは一定の収入を確保する目的で、栽培者がユーの木樹皮の販売に殺到し、しのぎをけずるようになったのです。この結果、北米大陸北西部全域に生育するユーの木は、樹皮を求めて乱獲する人々によって多大な被害をこうむることになりました。

あまりに深刻化する事態を見かねて、政府が規制に乗り出しました。パシフィック・ユーを大量に繁殖させる方法も開発され、ニホンイチイ等の、豊富に入手できる“種”の葉や樹皮に存在する前駆物質から、タクソールを合成する方法も見出されました。

今でも、ファースト・ピープルは薬の原料として、また彫刻や木工芸術の材料として、ユーの木を必要としています。ユーの木が商業上の利益追及のターゲットとして乱獲されてしまったことを、多くの人々がなげています。また自分たちが伝統的に貴重品としてきたものが商業ベースに乗せられた時に、どのような事態になるか、ユーの木で教訓を得たと話す人も多くいます。

### 3. レッド・アルダー：ハンノキ（写真4）

レッド・アルダーはパシフィック・ユーと比較して、より多く繁殖していますが、薬効や実用的な利点ゆえに、非常に重宝されています。レッド・アルダーの木を利用して、彫刻付きのボウルやマスク（面）が作られますし、樹皮は赤の染料の材料となります。カバツキの親類です。



写真4 レッド・アルダー

薬として利用されるタンニン、フラボン、グリコシドを始め、多くの有効特性を強く発揮し、9つのバクテリア病原体の活動に対する抑制効果が示されました。デビルズ・クラブと同様に薬の用途も多岐にわたります。通常は樹皮を煎じて消化器官や呼吸器系の疾病の内服薬として用いたり、皮膚の感染症に外用薬として利用します。結核の治療に効果があることは良く知られています。私の友人で教師でもあるDr. デイジー・シーウィード・スミスは、クワ・クワ・クワワの歴史家兼文化の専門家ですが、彼女は重度の肝臓結核をわずらった時に、祖母が命を救ってくれたことを回想してくれました（パーソナル・コミュニケーション、1993）。

“私自身も、そして担当のドクター達も回復の見込みはないとあきらめっていました。ところが、植物の力で私の命は救われたのです。私の祖母が3種類の植物を使って私の病気を治してくれました。だから私はこの薬が効くことを体で知っています。私は結核を患い、この薬の効果を実感しました。2度結核を患いました。最初は9歳の時、2度目は23歳の時に腎臓に発症しました。テムス（レッド・アルダー）の樹皮、そしてン・ン・タニ（グランド・ファー：北米西部産のモミの一種）、3つ目の植物の名前は…思い出せません。〔後日彼女は3つ目がデビルズ・クラブであったと語ってくれました。〕ユーの木があつたことを覚えています。たくさんのユーの木が利用されていました。それから、ある種の葉っぱを腫れ物に使っていました。それ以外にも、ある種の病気にいろいろな植物を薬として使っていたのです…。”

### VIII. その他の草根木皮薬

上述したもの以外にも、重要な薬効を持つ植物は多く存在し、ブリティッシュ・コロンビアのファースト・ピープルによって様々な使われ方をします。いくつ

かの例をあげてみましょう。

### 1. グランド・ファー（北米西部産モミの一種）

この針葉樹の葉、樹皮、樹脂は強い香気を放ちます。香料として、森に行く前に腕や顔にこすりつけ、人間の匂いをマスキングし、略奪者から身を守るために用います。樹皮は煎じた後、トニックに仕上げ、結核やその他の病気治療に用います。ン・ヒヤカ・ムフ (*N laka'pamn x*) の長老アニー・ヨークが同様の使い方をする別の種、エイビス (*A.ラシオカルバ*) について次のように語ってくれました（パーソナル・コミュニケーション、1976）。

“どのような食べ物であれ、例えばドライ・フィッシュを寝る前に食べたら、まず洗顔をします。ファーを使って、洗顔してから、服にもファーをこすりつけます。清潔な衣服を身につけ、着ていた服は野営地から離れたところにつるしておき、何物にもじやまされないようにする。もし女の子どもがいて、森に行かせなければならない時は、みんなこうするのです。”

### 2. キニキニック（写真5）

この常緑の低木は、数種類のアルカロイドを含有していますが、北半球の尿路感染症の治療薬として知られています。ブリティッシュ・コロンビアのファースト・ピープルは葉から取ったお茶を、プラッドトニック、腎臓や尿管用の葉やその他の目的で利用しています。ファースト・ピープルの中には、あぶった葉をタバコの代替物にしている人もいます。



写真5 キニキニック

### 3. ワイルドジンジャー：カナダサイシン

この植物の根茎はアサロン（又はカナダサイシン）を含む精油の働きによりスパイシーで心地よい香気を放ちます。葉や根茎は、香料として風呂の水に入れたり、悪霊の影響から身を守るために用いたりもします。幸運をもたらすもの、とも言われています。

### 4. オレゴン・グレープ（写真6）

オレゴン・グレープはアルカロイド、ベルベリンを含むブライトイエローの植物です。ファースト・ピープルは葉として様々な目的に用いています。ブラックド・トニックや肝臓薬として、また、腫れ目や貝類による食中毒の解毒剤としても使われます。ベリーも食用ですが非常に強い酸味を持っています。

### 5. レッド・オーシャ・ドッグウッド：ミズキ科 (写真7)

この低木の樹皮は明るい赤色をしています。樹皮の内部にアスピリンのような物質（アセチル・サリチル酸）が含有されると、長老達は語ってくれました。私の友人兼先生でもあるDr.メアリー・トーマスは Secwepemc（セクウェペ）の長老ですが、レッド・オーシャ・ドッグウッドは、切り刻んで湿布にし、腫れ物や炎症、

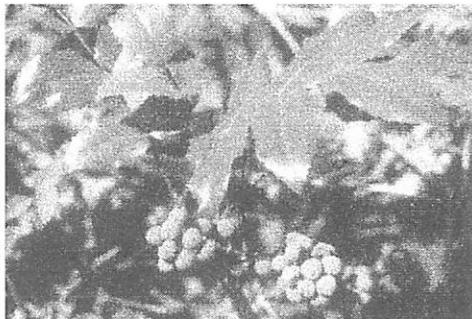


写真6 オレゴン・グレープ



写真7 レッド・オーシャ・ドッグウッド

歯の痛みを鎮めるために用いると教えてくれました。彼女のお父さんは、生涯一度も歯医者のクリニックへ行ったことがないそうです。歯痛の時は、この植物から薬を作り、それで用は足りたということでしょう。

#### 6. インディアン・セロリ：せり科（写真8）

春に緑色を呈す野菜で、ビタミンCを多く含むこの植物も重要な薬草です。香気を放つ種（シード）は、スープ、お茶の香りづけとして利用され、タバコの香料として使用することもあります。様々な用途の中で最も重要なのが、

風邪、せき、ノドの腫れ、結核等の呼吸器系の病気の治療薬としての働きです。沿岸部では、カッフミンという名で知られています。非常に聖なる植物とされ、ファースト・サーモン・セレモニーの必須アイテムです。また、病人や死人が出た家の浄化を目的にお香として燃やすこともあります。私の友人のキム・Lカルマ・クルテシさんは、クワ・クワ・クワワ族の出身ですが、村人たちにとつてこの植物がいかに大切かを説明してくれました（パーソナルコミュニケーション：談話、1993）。



写真8 インディアン・セロリ

“カッフミンは非常に聖なる植物で、精神や体のためにいろいろな使われ方をしています。今私の家のストーブで燃えていますが、これは休息の為に横たわっている偉大なレディーを称えるという意味がこめられているのです。”

取り入れる時期は、種が茎から落ちる秋で、牧草地帯で採取します。私は種がほとんど落ちるまで待って自分の分を採取しにいきました。カッフミンは体の病気の治療だけではなく、魂の浄化に用いられます。カッフミンのお茶はお

いしい上にノドや呼吸器系のトラブルによく効きます。声を強くする効果もあるということで、ポトラッヂのシンガーたちはこのお茶を愛飲しています。

#### 7. リコリス・ファーン：甘草シダ（写真9）

肉厚でからみつくような根茎を持つシダの一種で、甘味の強い甘草特有の香りを持つ化合物を含有しています。根茎をガムのようにかんだり、お茶にして、ノドの痛みやせき止めに用います。また、苦味の強い薬の甘味付けとして用いることもあります。

#### 8. カスカラ：北米産クロウメモドキ属（写真10）

小さな木で、樹木にグリコシドを多く含みます。樹皮は調剤薬の原料として用いられます。特に、便秘薬、消化器官の病気の治療に効果があるとされています。緩下剤として広く用いられており、商業用として薬局等で販売されています。

#### 9. レッド・エルダーベリー

この低木の葉、樹皮、根はシアノ化物生成グリコシドを含有しているため、潜在毒性を持ちます。ファースト・ピープルは下剤や吐剤として利用しています。ある長老は、エルダーベリーから作った葉が彼女の命を救ってくれたと私



写真9 リコリス・ファーン



写真10 カスカラ

に語ってくれました。出産した時に長くつらい陣痛にたまりかね、エルダーベリー薬を摂取したら、ほとんど直後に女の赤ん坊が生まれたそうです。

#### 10. スティンギング・ネトル：イラクサ

とげのあるヘア一部分に酢酸や蟻酸が含まれています。ファースト・ピープルは、マヒ、関節炎、リュウマチに伴う鎮痙剤として利用しています。

#### 11. フォールス・ヘレボア：ユリ科バイケイソウ属（写真11）

非常に毒性が強く、パワフルなユリ科の植物で、身体用、精神用の薬剤として用いられます。

各種のアルカロイドを含有し、心臓や神経系に作用します。最も一般的なのは、関節炎やリュウマチに伴う四肢のこわばりや腫れを鎮める湿布等、外用薬として用いる方法です。運動選手の中には、これを皮膚にこすりつけ、鎮痛剤や局部の痛み止めとして使用する人もいます。内服する場合は、毒性や毒性反応に十分注意を持つ人が処方しなければなりません。このため、ハーブのエキスパート以外は取り扱わない方が無難です。

“スクーカム・ルート”と呼ばれることがあります。“スクーカム”とは“ストロング／パワフル”という意味です。インディアン・ヘレボアと呼ばれることもあります。本日言及している植物名もそうですが、各部族それぞれの呼び名がつけられています。ちなみにブリティッシュ・コロンビア州だけでも、30の言語が話されているそうです。



写真11 フォールス・ヘレボア

## IX. ハーバル・メディシンの諸問題

次にハーバル・メディシン（草根本皮薬の使用）に関連し、伝統的な生活をしている先住民が抱える諸問題について述べましょう。

先住民の長老たちが口をそろえて懸念している問題は、彼らにとって伝統的な薬が世界規模で商品化され、市場原理に基づいて流通されるようになったことです。伝統的な先住民の植物のスペシャリストの多くは、非常に寛大で、尊敬の気持ちを示してアプローチしてくれる人々に対して惜しみなく知識を分け与えます。薬を調合して与えても、対価を求めないケースもあります。しかし、そのような薬を服用する際には、正しい生活を送ることが大切であるという傾向も同時に伝えるのです。

彼らは、人々の食生活が大きく変化し、大量の精製炭水化物（スタークや砂糖等）や健康に良くない脂肪を摂取することで、ハーバル・メディシンの本来持つ効果が損なわれてしまうことを指摘します。

さらに、薬物やアルコールを乱用する人がハーバル・メディシンを摂取することにより、より命を危うくする可能性もあると語っています。伝統的文化に関心の高い長老やヘルスケアの専門家、療法士、ファースト・ピープルの間で近年みられる健康状態の悪化は、ライフスタイルの選択と無縁ではないと指摘しています。

長老達の別の心配は、ファミリーやコミュニティーで代々伝承されてきた薬効を持つ植物に関する知識が、十分な形で後世伝承されなくなってきたことです。昔は、ハーブの専門家が若者に個人指導の形で知識の習得、実践での応用を数年にわたり訓練してきました。

西洋式の教育を受け、テレビを始めとする各種娯楽に興じる現代の若者の多くは、自分たちの伝統を学ぼうとする意欲に欠けているのが事実です。

薬効を持つ植物の生息地の減少、自分たちのテリトリー内に所在し、薬のスピリチュアルな面を引き出す儀式を実践してきた“聖なる土地”の環境破壊に

直面し、多くの長老達は苦悩しています。例えば、デイジー・シーウィード・スミスさんは（1994年の談話の中で）こう語っています。

“私たちが一番心配しているのが薬です。祖母が私の薬を得るために訪れた場所は、すでに存在しません。植物も根こそぎ伐採されてしまったために、完全に姿を消してしまいました。”

薬効を持つ植物の過剰栽培も先住民にとって大きな問題です。特に商業スケールでの栽培は、人々にパシフィック・ユーの時の教訓を思い出させます。ブリストル・スクイプがパシフィック・ユーの樹皮に関する特許を取得し、パシフィック・ユーの樹皮を収穫させるため、人々に賃金を支払うという前例をつくってしまったのです。カスカラやデビルズ・クラブも、過剰栽培により、人々の暮らしに悪影響を及ぼしています。

## X. おわりに

感謝の気持ちも抱かず、伝統的な生活をしている先住民に恩恵をもたらすとともに、ファースト・ピープルが長年大切にしてきた知識を他人が着服してしまうのではないかと心配している人もいます。ファミリーに代々継承されてきた草根本皮薬の知識の中には、特定のレシピ等、ファミリーシークレットとして口外一切無用扱いしているものもあります。あまり広く知られてしまうと、薬効が失われてしまうという恐れを持つためです。

では、最後の例として、エキネイシア（Echinacea）という植物を取り上げます。この植物は世界中で知られており、特にヨーロッパで免疫強壮剤（イミュノ・ステイミュラント）として重宝されています。体の免疫機能を高め、風邪や感染症に対して効果が高いといわれています。エキネイシアは北米大陸大平原の先住民の人々がかつて多用していましたが、過剰採取が原因で、局地的に根絶てしまいました。今日植林や法的保護を含む入念な保全・復元努力

が功を奏して、エキネイシアはカムバックを果たしつつあります。

我々が注意深く、尊敬の気持ちを抱き、長老たちの声を素直に聞き、彼らの心配を共有できれば、彼らが持つハーバル・メディシンの知識から多くの恩恵を得ることが可能です。特に伝統的な先住民の人々が持つ知識を彼ら自身が今後も活用していくよう、さらには彼らの文化遺産を末永く継承していくような状況を整えることが大切です。